



# NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会

# MANO a MANO

～「mano a mano」とはスペイン語で「手から手へ」という意味です～

会員数 699 人

医師 156 人

コメディカル 543 人

管理栄養士派遣登録数 37 人

## 《目次》

～暑い夏でした～	住友 秀孝先生……………Page 1
研究会等の実施報告……………	Page 2
研究会他のお知らせ……………	Page 3・4

## ～暑い夏でした～

当研究会評議員 立川相互病院 住友 秀孝

朝晩はずいぶん涼しくなってきましたが、今年の夏は、とりわけ暑い夏(猛暑)でした。いつもの運動療法が実行できず、HbA1cが少し上昇してがっかりする患者さんが来院されています。こんな時は励ますしかありません。食欲の秋に向けて、運動の再開と食事療法も気をつけるようにお話をしています。

さて、毎年夏の時期には胃腸炎が流行します。特に2型糖尿病患者さんは、複数の経口糖尿病薬を投与されていることが多く、腹痛や下痢、嘔吐時の内服薬の中止や減量が必要となります。しかし、このようなシックデイに上手に対応ができず、低血糖を起こした患者さんがいました。特に、グリニド系薬剤やSU剤を内服している方は半分に減量する、中止をする等の判断が大切です。しかし、普段はしっかりしている方でも体調がすぐれない状況では、つい内服してしまいます。日常診療の中で、夏を迎える前に再度お話をしたいものです。

次に、ビッグアライド剤を内服されている方で下痢、嘔吐の際に内服を完全に中止する事を忘れていた方が散見されます。処方開始時に主治医や薬剤師さんからしつこく何回も説明したはずなのですが、やはり体調不良時は気がつかないものです。副作用の乳酸アシドーシスの合併頻度は低いものですが、重篤な病状ですので心配です。徐々に体調が回復し、食事量が元に戻った後に内服を再開していただくとよいと思います。



今年の夏におこった色々な外来のてん末を書いてみました。会員の皆様の勤務先ではいかがだったでしょう。もうすぐ(?)、冬のインフルエンザの季節がまいります。秋の外来から冬のシックデイ対策をお話してゆきましょう。



## 研修会等の実施報告

### 第8回 西東京糖尿病療養指導士養成講座が開講いたしました。

平成19年9月4日(火)立川市女性総合センターアームにおいて西東京糖尿病療養指導士養成講座、第1回講座(全13回)が開催されました。会場は熱心に聞き入る受講生の方々の熱気にあふれていました。本年度、養成講座を受講されている学生さんに受講理由を伺いました。

西東京糖尿病療養指導士研修会の受講希望理由

日本女子大学 家政学部食物学科管理栄養士専攻3年 安間智子

私は、祖父がⅡ型糖尿病を患っていることから糖尿病に興味を持っていました。また、大学の授業では日本の糖尿病の罹患率、糖尿病予備軍(特にⅡ型糖尿病)が増加していることを学びました。食事が欧米型になっている現代では、糖尿病の罹患率がさらに増えると思います。日本人は欧米の人々よりもBMIが少なくても糖尿病になりやすい人種であることも知りました。授業で糖尿病のことを教わっていくにつれて、さらに糖尿病に対する興味が増えてきました。



大学の教授からⅠ型糖尿病に罹っている子供のためのサマーキャンプに参加出来るチャンスがある事を知りました。私が参加しようと思った目的は、Ⅰ型糖尿病を患っている子供たちと接してみたいと思ったからです。実際にサマーキャンプに参加してみて、子供たちはたくさんのことを教えてくれました。たとえ病気を患っていても、それを感じさせないくらい明るく素直で積極的に行動している姿がとても印象的でした。食事の面では、偏食の多い子がいることが分かりました。2期のサマーキャンプでは子供が自分自身で何をどのくらい食べるか決め、食事を選択します。主食ばかり食べる子や、野菜嫌いの子がいました。その子たちに「少しだけでいいから食べてみよう」と優しく声をかけ、食べてくれた時には嬉しかったです。子供が偏食をなくせるよう、周りの大人が環境を整えていく必要性を感じました。

私はキャンプに参加したことで糖尿病に対する考えが変わりました。キャンプでⅠ型糖尿病患者の子供は、見た目では分からないということを知りました。皆、普段町で見かける子供と変わりませんでした。だから周りの人が病気であると理解する事は難しいと思います。Ⅰ型糖尿病患者は「私が眼鏡をかけなければ見えないことと同じように、インスリンを打たなければいけないだけ」であり、インスリンを打つということは子供たちにとって生活の一部だと思いました。

Ⅰ型糖尿病に罹っている子供に、何単位を食べなさいとか、お菓子は食べてはいけませんと、周りが制限するのではないという事も学びました。子供は一生インスリンを打ち続けなくてはならないので、何をどのくらい食べるから必要なインスリンはどのくらいだと子供たちが自分自身で理解できるような指導が大切であると思いました。その点で、2期のキャンプは貴重です。今回キャンプに行き、Ⅰ型糖尿病の子供たちと生活を共にすることで自分の視野が広がったと思います。この子供たちがよりよい環境で生活していけるためにも、多くの知識を吸収していきたいと思うようになりました。



私は、将来臨床の現場で患者が信頼できる栄養士になりたいと思います。自分でも臨床栄養学などについて勉強していきますが、より深い専門知識を得るためにこの研修会の受講を希望しました。人々の健康に貢献する医療スタッフとしての誇りを持って、患者の生活の質を落とさないような栄養教育をしていきたいです。



## 研究会他のお知らせ1

◆ 直接事業 ◆ 間接事業

### ◆ 第8回 糖尿病予防講演会 (お申込は不要です。)

開催日：平成19年10月13日(土)

場所：西東京市民会館(西武新宿線田無駅下車徒歩10分)

(西東京市田無町4-15-11)

特別講演：メタボリック・シンδροームを阻止するために

—その予防と診療の最前線— 東京通信病院内科部長 宮崎 滋

※西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：2単位

※日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<2群>：0.5単位

### ◆ 第10回 糖尿病食を作って食べて学ぶ会 (※お申込が必要です。)

—ハンバーグ大好きな人集まれ!—

開催日：平成19年10月15日(月) 10:30~

場所：調布市文化会館たづくり10階 調理実習室(京王線調布駅下車徒歩3分)

(調布市小島町2-33-1)

※参加ご希望の方は事務局(042-322-7468)までお問合せ下さい。



### ◆ 第15回 武蔵野糖尿病医療連携の会 (※お申込が必要です。)

—糖尿病患者の脳梗塞を予防する為に—

開催日：平成19年10月20日(土) 17:00~19:00

場所：Lサロン飛鳥 国分寺駅ビル8階 (JR・西武線国分寺駅下車徒歩1分)

(国分寺市南町3-20-3)

会費：医師 1,000円 医師以外 500円

「糖尿病診療における脳梗塞に関するアンケート結果」

東京都立府中病院 内科医長 辻野元祥先生

「糖尿病患者の脳梗塞を予防する為には？」

東京都立府中病院 内科医長 西田賢司先生

「脳神経外科から見た脳梗塞と糖尿病」

東京都立府中病院 脳神経外科医長 湯山隆次先生

[hiroyuki.ogura@sanofi-aventis.com](mailto:hiroyuki.ogura@sanofi-aventis.com) へお申込下さい。

※日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<2群>：0.5単位申請中

※西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：2単位

※日医生涯教育制度：3単位申請中

## 事務局からのお知らせ

### <認定更新について>

平成20年4月に西東京糖尿病療養指導士の認定更新を迎えられる皆様へ8月上旬ごろご案内を発送しております。書類提出締切は10月末日となっておりますので、ご留意下さいますようお願い申し上げます。なお、更新申請の手続きをしない場合、現在お持ちの認定資格を失効することとなります。更新についてご不明な点がございましたら事務局までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

事務局連絡先：042-322-7468





## 研究会他のお知らせ2

◆ 直接事業    ◆ 間接事業

### ◆ 第2回 西東京糖尿病心理と医療研究会 (※お申込が必要です。)

ー症例検討会およびワークショップ開催ー (詳細は当研究会ホームページをご覧ください。)

開催日：平成19年11月22日 (木) 19時25分～

平成19年11月23日 (金) 8時30分～12時00分

場 所：多摩永山情報教育センター (京王線・小田急線永山駅下車徒歩5分)

(多摩市諏訪2-5-1)

参加費：医師13,000円・コメディカル11,000円 (宿泊シングル・夕食・朝食込み)

定 員：先着60名 ※参加費は事前振り込み制となっております。

※懇親会費として別途500～1,000円徴収させていただきます。

※お申込用紙は当研究会ホームページよりダウンロードください。

※西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：4単位以上申請中



### ◆ NPO法人西東京臨床糖尿病研究会 第42回例会 (お申込は不要です。)

(※直接会場までお越しください。)

開催日：平成19年11月23日 (金祝) 14:00～17:30

場 所：東京農工大学小金井キャンパス講義室L0026 (JR中央線東小金井駅下車徒歩10分)

(小金井市中町2-24-16)

参加費：会員 無料／一般 1,000円

“糖尿病治療のエッセンス”のツボ 一目から鱗の使いこなし術ー

(参加者にはエッセンスのエッセンス差し上げます。)

※日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<2群>：1単位申請中

※西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：7単位

### ◆ 第18回 武蔵野糖尿病研究会 (※お申込が必要です。)

開催日：平成19年12月8日 (土) 15:00～17:30

場 所：武蔵野赤十字病院 山崎記念講堂 (JR中央線武蔵境駅下車徒歩10分)

(武蔵野市境南町1-26-1)

会 費：500円

講演1：「持続血糖モニタリング(CGMS)からみた血糖コントロール」

東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科 講師 西村理明先生

講演2：「実践！メタボ検診 ー 実地医科は、どう対応するか」

菅原医院 院長 菅原正弘先生

※お申込用紙は当研究会ホームページよりダウンロードください。

※西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：2単位申請中

### ◆ 第5回スキルアップセミナー (医師向け) 2007 (※お申込が必要です。)

開催日：2008年 1月20日 (日)

場 所：三鷹産業プラザ701・702会議室 (JR中央線・総武線三鷹駅南口より徒歩7分)

(三鷹市下連雀3-38-4)

テーマ：「経口薬」

※詳細が決まり次第会報およびHPでお知らせします。

NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会 事務局

〒185-0012 国分寺市本町3-10-22 オリエンツプラザ 402

TEL : 042(322)7468 FAX : 042(322)7478

http://www.nishitokyo-dm.net Email:w\_tokyo\_dm\_net@ybb.ne.jp

